

広報

すいどう

NO.206

令和3年
4月1日

高知市上下水道局

〒781-8010 高知市棧橋通三丁目31-11

料金についてのお問い合わせ 832-1132

上下水道局へのお問い合わせ 821-9200

【経営理念】

水に感謝

人に感謝

自然に感謝

めぐる水を大切に、
安全で安心な暮らしを
支えたいきます

新連載

災害に強く、頼りになる水道をめざして
第1回 水道管の耐震化について



水道管の布設工事の様子（中島町・大正14年）

大正14年～

水道創設期

高知市における水道の誕生

高知市の水道は大正14年4月、全国で56番目、四国では高松市に次いで2番目に誕生しました。鏡川本流の廓中堰上流（現在の本宮町）を水源とし、創設時の計画規模は計画給水人口40,000人、1人1日最大給水量111リットル、1日最大給水量4,440㎡というものでした。基幹施設である旭浄水場は土佐郡旭村御殿山（現在の旭天神町）の山麓に設けました。

大正14年の水道創設以来、高知市の水道を支えてきた旭浄水場は昭和60年6月に近代水道100周年を記念した厚生省（当時）指定の『近代水道百選』に選ばれています。

▼平成29年4月

旭浄水場送水ポンプ室の今昔

大正14年▼

当時のルネサンス様式はそのまま、最新の機能と耐震性を備えた浄水場に生まれ変わっています。



旭浄水場配水計量所（大正14年）

